

博物館だより

No.233

令和8年4月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都市みやこ町豊津 1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

博物館休館日カレンダー
2026年4月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

休館日 ※情報はR8.3.10現在



◆講座・教室・催し物ガイド
4月の歴史講座

【漢詩紀行講座】
4月4日(土) 9時30分〜

【古文書講座】
4月11日(土) 10時〜

【古典かな講座】
4月18日(土) 13時30分〜

【みやこ学講座】
4月29日(木・祝) 10時〜

※日程等変更となる場合があります。
※見学会等は別途ご案内します。

博物館で生涯学習始めませんか？
博物館は郷土資料と学芸員らのサポートによる知と学びの拠点です。以下の会や講座を利用して楽しく学びませんか？詳しくは博物館へお問合せください！

★博物館友の会
バスハイク・歴史たんけんウォーク等の学びの旅やイベントに参加できます。

★文化遺産ボランティア養成講座
ガイド等を通して、町内に見られる文化遺産のすばらしさを伝えるスタッフを養成する講座です。

★博物館歴史講座
館や町内外の文化遺産を題材に、町の歴史と文化を学びます
4種の講座がありますが、掛け持ちや、お試しも可能です(詳細下記)。

ふるさとの歴史を学ぼう！文化に触れよう！ 令和8年度博物館歴史講座 受講生募集！

博物館では新年度からの歴史講座の受講生を募集します。
歴史講座には「漢詩紀行講座」「古典かな講座」「古文書講座」「みやこ学講座」の4種があります。
受講を希望される方はお気軽に博物館までお問合せください。
なお、各講座では毎回、受講料として200円が必要ですのでご了承ください。

講座内容のご紹介

【漢詩紀行講座】

●講師 宮原加代子先生
●内容 「漢学の郷」みやこの詩人・村上弘山の漢詩を主に鑑賞します。あわせて漢詩の基礎や唐詩なども学びますので、初心者も参加可能です。
●実施日 毎月第1土曜日
午前9時30分〜

●実施日 毎月第1土曜日
午前9時30分〜

【古典かな講座】

●講師 宮原加代子先生
●内容 日本の古典文学の名文や名歌の鑑賞と手習いをします。初めての方にも参加しやすく進めます。
●実施日 毎月第3土曜日
午前9時30分〜

●実施日 毎月第3土曜日
午前9時30分〜
*4月については午後1時30分からです。

【古文書講座】

●講師 川本 英紀先生
●内容 江戸時代の人が「くずし字」で書いた手紙や日記などを解読します。特にみやこ町に関わる古文書を歴史的な背景についての解説を交えながら読み進めます。
●実施日 毎月第2土曜日
午前10時〜

【みやこ学講座】

●講師 当館学芸員ほか
●内容 「みやこ町と周辺地域の自然・文化遺産を考える」をテーマに、関連する資料を題材に地域文化を学ぶ講座です。
●実施日 毎月第4土曜日
午前10時〜

*4月については29日(木)に実施します。



▲参考：みやこ学講座における現地学習の様子(写真はテーマに因む史跡・小宮豊隆墓所の見学の様子)

3月の業務日誌から

3月1日(日)、春の全国火災予防運動にちなみ永沼家住宅で文化財防火点検式が行われました。当日は行政と関係者(所有者・保存協力会・地元消防団員等)が一堂に会して文化財の防火体制を確認しました。

3月3日(火)「肥後の里山ギャラリー(熊本市)」の企画展「夏目漱石来熊130年 漱石とくまもと」の開催に伴い、当館の小宮豊隆資料25点の貸出を行いました。当館史上初の大量貸出で行われる企画展が楽しみです。



▲点検や梱包は入念に行われるため、引渡しも一日がかりでした



▲備え付けの防火設備を試験操作し有事の対応も確認しました

みやこの歴史発見伝 186
 「昭和100年」と
 吉田増蔵 ④

昭和61年(1986)から昭和70年(1995) 男女雇用機会均等法が施行された昭和61年(1986)、勝山では4月に勝山町民憲章、木・花が選定されます。犀川でも3月に一般公募による歌詞の「犀川町民音頭」が完成。4月には「犀川町中央公民館」が完成します。伊豆大島三原山の大噴火により、全島民が避難した11月には「第1回まつり・かつやま」が開催されます。昭和62年(1987)4月、国鉄が分割民営化により新たにJRとして発足しますが、その翌月「豊前国分寺三重塔」改修工事が完了します。勝山では3月に「勝山町総合運動公園」が完成します。10月には利根川進氏がノーベル生理学・医学賞を受賞し、12月に犀川で銚立トンネルが開通します。3月に青函トンネル(53.85km)が開業し、4月に「瀬戸大橋」が開通したことにより日本列島が道路で繋がった昭和63年(1988)1月、勝山の「障子ヶ岳城跡」で繁茂した樹木の伐採や除草を行う「城攻め事業」が始まります。日本初の屋根付き球場、東京ドームが落成した3月、犀川橋が完成しています。豊津では、東地区簡易水道浄水場の建設が始まり、4月1日に芥川賞作家の鶴田知也が86歳で死去します。この年の9月にソウル五輪が開幕しました。昭和64年(1989)1月7日、昭和天皇が87歳で崩御します。同日、政府により新元号「平成」が発表・公布され、翌日に改元されたことから「昭和」は62年と14日で幕を閉じますが、この日数



「平成」改元の際、勝山で取材する新聞記者(先人マンガ「吉田兄弟物語」より)

は「元号発祥の国」中国の元号を凌ぎ、現在、元号「昭和」は世界最長の元号に位置付けられています。この「昭和」を考案した吉田増蔵の故郷、勝山上田集落には、「元号昭和の考案者」及び「新たに即位する天皇陛下の称号・名前の考案者」の取材を目的として、複数の新聞社などが取材に訪れました。この年、改元に呼応するように日本や世界でも歴史の変換点となる社会の変化がみられました。4月1日消費税(税率3%)がスタート。6月には中国天安門事件が勃発し、11月にはベルリンの壁が崩壊します。この年、4月に沿線の11市町村と県による「平成筑豊鉄道株式会社」が設立し、10月に営業を開始します。豊津では8月に「旧福岡県立豊津中学校講堂 思永館」が県の文化財に指定され、国作の「豊前国府推定地」で発掘調査が開始します。12月には航空自衛隊築城基地にF15J戦闘機が配備され、豊津出身の永井龍雲が作詞作曲した「暖簾」が「第22回日本作詞大賞」の優秀作品賞を受賞します。犀川では11月に国指定文化財「永沼家住宅」の改修工事が行われます。平成2年(1990)3月、犀川では「生立橋」が完成します。豊津では4月に

豊津町総合運動場が落成。10月に平成筑豊鉄道駅「新豊津駅」が開業し「椎田勝山線バイパス」が開通。勝山では「とびうめ国体」のゲートボール大会が開催されます。湾岸戦争が勃発し、長崎県・雲仙普賢岳で大規模な火砕流が発生した平成3年(1991)、国道10号線バイパスが開通。9月27日には台風19号が福岡県を直撃し、町内全域に未曾有の被害が記録されます。バルセロナ五輪が開幕した平成4年(1992)9月に国公立の小中学校で第2土曜日が休校になり、11月には役場も土曜日が完全閉庁になります。豊津では2月に「歴史民俗資料館」の工事に着手。9月には八景山中腹に鶴田知也文学碑が建立されます。犀川では小宮豊隆が主人公のモデルとなった夏目漱石の小説に因んで純命院地区の新駅名が「東犀川三四郎」に決定します。またこの年、行橋駅高架事業に着手します。「姫路城」「法隆寺」などが日本初の世界遺産になった平成5年(1993)、5月にJリーグが開幕し、6月に現在の天皇・皇后陛下のご成婚が執り行われました。勝山では3月に「大宰官道」「黒田楽」が町の文化財に指定され、犀川では、「ユータウン犀川」が完成しま

す。松本サリン事件が発生した平成6年(1994)、7月に日本人初の女性宇宙飛行士を乗せたスペースシャトルが打ち上げられ、10月に大江健三郎氏がノーベル文学賞を受賞しました。豊津では2月に「豊津町農産物加工施設」が完成し、4月には「豊津町歴史民俗資料館」がオープンします。8月には町内で未曾有の干ばつに見舞われ、犀川では「犀川町誌」が発刊されます。1月に阪神・淡路大震災、3月に地下鉄サリン事件が発生した平成7年(1995)には、「Windows 95」が発売されました。また、勝山・豊津では「町制40周年記念式典」が開催されています。勝山では図書館が開館し、犀川では「やまびこ診療所」が開所します。

2月に長野オリンピックが開幕した平成10年(1998)、犀川では「燈畑小学校」「帆柱小学校」が廃校になり11月には「蔵持山修験道遺跡」「大山祇神社の大イチョウ」が町の文化財に指定されます。8月に行橋駅高架事業が終了した平成11年(1999)、勝山では「仲哀隧道」が国の登録文化財に指定されます。豊津では「天八幡神社の大楠」が町の文化財に指定され、犀川では「木造阿弥陀如来坐像」「銅製鰐口」が県の文化財「蔵持山開運資料」などが町の文化財に指定されます。7月に2000円札が発行され、9月にシドニー五輪が開幕した平成12年(2000)5月に犀川の「石坂トンネル(第2隧道)」が国の登録文化財に指定され、11月に豊津で「第1回国分寺サミット」が開催されます。3月にユニバーサル・スタジオ・ジャパ

ン(USJ)が開園し、9月にアメリカで同時多発テロが発生した平成13年(2001)10月に豊津では「町立図書館」が開館します。平成14年(2002)2月にソルトレイクシティ五輪が開幕し、5月に日韓共催サッカーW杯が開催されます。また10月に「ノーベル物理学賞」を小柴昌俊氏「化学賞」を田中耕一氏がそれぞれ受賞します。アメリカ、イギリス連合軍がイラク攻撃を開始し、自衛隊がイラクに派遣された平成15年(2003)3月には豊津で物産直売所「国府の郷」がオープンします。韓流ブームが席巻した平成16年(2004)3月に九州新幹線新「八代駅」鹿児島中央駅が開業し、8月にはアテネ五輪が開幕。11月に新紙幣が発行され、4月に県立育徳館中学校が開校。鶴田知也旧蔵資料が豊津町に寄贈され、勝山では「千女房のヤマザクラ」が町の文化財に指定されます。(井上信隆)

「たまごっち」が大流行した平成8年(1996)4月、キャナルシティ博多が開業しました。2月29日には「豊津町歴史民俗資料館」が町立として福岡県内初の「登録博物館」となり、3月には「豊前国府跡公園」が完成し、「安武手永大庄屋文書」「豊前国分尼寺跡」が町の文化財に指定されます。犀川では犀川町村合併40周年を迎えました。消費税が5%に引き上げられた平成9年(1997)10月に「ゆめタウン行橋」が開業。12月に世界初の量産ハイブリットカー「プリウス」が発売されました。豊津では4月に「豊津町史」が発刊され、翌月には、総合福祉センター「すどりの里」がオープン。11月には第1回愛郷フェスタ(現・みやこ町愛郷音楽祭)が開催されます。また犀川では12月19日に犀川小学校に「被爆エノキ(平和の木)」が寄贈されます。